

# 市民による男女共同参画推進補助事業が開かれました!

「プチプチ ママッチ パパッチ」  
NPO法人次世代健全育成支援サポート  
あひるっこ主催

10代から60代の男女が参加し、これまでに昨年8月、10月、12月の3回、開催され大好評でした。

1回目は、妊婦さんたちも参加し、生命の誕生の不思議について語り合い、「生命の尊さ」を学びました。

2回目は「ワークショップみんなの木・岡本伸子さん」を招き、人の気持ちの痛みを知ること、人の存在を認め合うことなどをゲーム形式に問いかけ、「思いやり」を学びました。

3回目は「食育」について学びました。主催者は「皆さん笑顔いっぱいでした。会場は“愛”に包まれましたよ。この“愛”の連鎖と、子どもたちが健やかに育ってくれることが私たちの思いであり願いです」と話しています。

3月23日(日)には最終4回目の会が開かれます。



映画「わらびのこう(藤野行)」上映会

さんか・クラブ主催

来場者 350人 (女性:300人・男性:50人)

アンケート回答者 175人 回収率 50%

(40代~50代 約30人 60代~80代 約140人)

○映画は?良かった:143人

○年老いてからの男女共同参画について

・男女の違いを尊重した役割分担や、今までの枠や考えにとらわれないで協力し合えるといい。

・男女共同参画は学校教育から始めなければ、年老いてからでは遅すぎる。

・なるべく外に出て、多くの友人を作りコミュニケーションをとりつつ目的を持っていこうと思う。



※アンケート結果より(抜粋)  
これからは高齢者に関する映画会や講演会を開催してほしいとの意見が多数ありました。

第4号

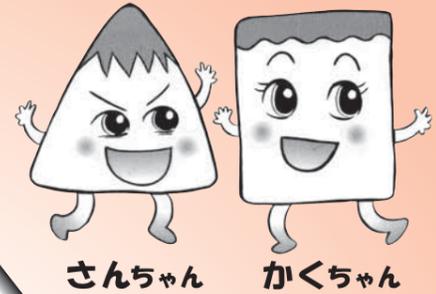
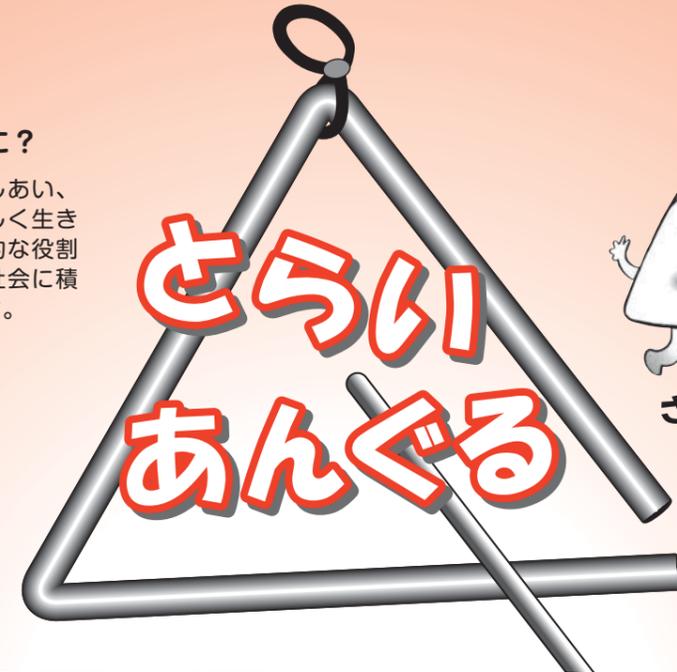
きたなごやし

男女共同参画情報紙

Vol. 4  
2008. 2

男女共同参画ってなあに?

女性も男性もお互いを尊敬しあい、ひとりの人間として自分らしく生きるために、性別による固定的な役割分担にとらわれることなく社会に積極的に参画していくことです。



## INFORMATION

### ドメスティックバイオレンスは犯罪です!

配偶者や恋人から振るわれる暴力「ドメスティック・バイオレンス(DV)」は、犯罪であり、人権を侵害する重大な問題です。

「暴力」には、殴る・蹴るといった身体的暴力だけでなく、ののしる、ばかにする、生活費を渡さない、行動を制限するなど含みます。

暴力の原因としては、夫が妻を殴ることを認めてきた社会、男女の経済的格差など、個人の問題として片付けられない社会の構造的問題も関わっています。ひとりで悩まず、専門機関へご相談ください。

なお、市の女性相談は、第1木曜(市役所西庁舎)・第3木曜(東庁舎)各10時~正午です。詳細は児童グループへ。

<愛知県女性相談センター>

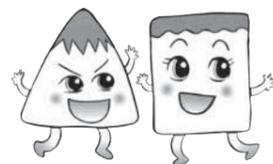
女性悩みごと電話相談 ☎052-913-3300  
月~金 9:00~21:00

<ウィルあいち>

☎052-962-2614  
火~日 9:00~12:00 12:45~16:30  
(土・日曜日は16:00まで)

◎DV専門電話相談

☎052-962-2568  
原則として第1週のみ水曜日、その他の週は土曜日  
14:00~15:30



さんちゃん かくちゃん

平成20(2008)年2月発行

編集 さんか・クラブ

イラスト 寝猫

発行 北名古屋市教育局

生涯学習グループ 東庁舎2階

〒481-8501 (住所記載不要)

電話 0568-23-6111

FAX 0568-23-3150

Eメール shogai@city.kitanagoya.lg.jp

ホームページ

http://www.city.kitanagoya.lg.jp/

### 編集後記

今回の特集は「団塊世代」に注目してみました。街の人の声と市の問合せ先を紹介することで、何かのヒントが伝えられたらうれしいかなと思います。また、頑張っている女性や日本女性会議の報告、推進事業の様子など、さまざまな情報を掲載しました。

「とらいあんぐる」が多くの方に読まれ、親しまれ、お役に立てることを願っています。そして家族で「男女共同参画社会」ってどんな社会のこと?って話し合ってみてはいかがでしょうか。思いがけない会話ができそうで結構楽しいかもしれません。

「男女が認め合い、助け合うこと」を大切にしていきたいですね。

(Y)



《特集》 どうする?団塊世代!!

写真: シルバー人材センター わくわく体験  
師勝町商工祭  
文化祭芸能発表会 ふれあいスポーツクラブ

# 《特集》 どうする？ 団塊世代!!

男性も女性も団塊世代が定年を迎え、家庭や地域に帰ってきます。「さてこれから何をしようか、何ができるだろう」と考えている人たちも多いはず。自分の人生を「人」として生き生きと歩いていくためにも、今、「男女共同参画」の意味をじっくりと考えてみませんか。新しい自分に出会えるかもしれません。

## ちょこっとインタビュー

### これから定年を迎える人

「具体的には考えていませんが、これまで仕事で培ってきたものを地域に還元できることはないかと考えています」

(60歳男性)

「保育士としてのキャリアを生かし、小中学校の授業ボランティアや病院に入院している子どもたちに読み聞かせボランティアをしたいと思っています」

(60歳女性)

「2年後には定年退職。家にいることが多くなるので、家事を覚えてしっかりやろうかと。今から妻に特訓を受けていますよ(笑)」

(59歳男性)

### 定年後を過ごしている人

「シルバー人材センターに登録して仕事をしています。自分自身の認知症予防と健康維持のための運動になっています。いろいろな人と話もできて楽しいですよ」

(69歳女性)

「若い時から写真や音響に興味があり、イベントの撮影や音響の手伝いをしています。もっとレベルアップをしたい。好奇心も旺盛で、地域に出て行くことが生きがいにもつながっています」

(70歳男性)

「草野球や中学生野球の審判をしています。好きだからできるんですね。楽しいですよ。体力のある限り続けていきたいです」

(64歳男性)

仕事、ボランティア、趣味・・・自分からどんどんチャレンジしていくことも大切。能力を生かして地域社会に貢献できたら良いですね。そのための地域の受け皿を紹介します。

## — INFORMATION —

#### 就業したいと思っている人は

- シルバー人材センター
  - 本部 西之保中社 8 ☎21-0810
  - 東支所 高田寺起返18 ☎21-3103
- 高齢者職業支援室 市役所東庁舎 ☎23-6111

#### ボランティアをしたいと思っている人は

- 社会福祉協議会 もえの丘内 ☎26-2700

#### 趣味を持ちたいと思っている人は

- 体育協会 総合体育館内 ☎25-9311
- 北名古屋ふれあいスポーツクラブ 市役所東庁舎スポーツグループ ☎23-6111
- 文化協会 東公民館 ☎22-4560
- レクリエーション協会 総合体育館 ☎24-0661

# 輝く女性たち

市内では様々な分野で頑張っている女性たちがいます。その姿を追ってみました。

## 商工会女性部部長に聞きました!

### ■師勝町商工会 高柳光子さん



女性部(部員:68人)の部長になり10年。8年前、ごみの減量を目指し、スーパーのレジ袋減量に取り組みました。女性部で

「マイバッグ」を製作し、普及運動に走り回る日々。地元の各スーパーに働きかけ、ポイント制を提案しました。今はごみ袋減量の成果をあげています。「皆さんの協力があったこそ。大変厳しい状況でしたが、目的を持ってみんなで力を合わせて活動できたことに感謝です。結果が出て嬉しい」と話します。大きな推進事業を成した達成感が笑顔に現れています。鹿児島県で開かれた女性部の全国大会では中部代表として環境問題について発表し、大きな反響を呼びました。

「楽しく活動しながら地域に貢献することが大切」とほほ笑みます。穏やかで控えめな姿勢の中に熱意と実行力が伺えました。

### ■西春町商工会 星谷節子さん



女性部(部員:54人)の部長になり3年。花屋を営み仕事に追われる毎日です。多忙な中にも地域のイベントや会議、研修会など、

積極的に参加し、自身の向上にも努めています。「店が忙しく、新しいことに取り組めないのは確か。先輩の方々の活動を継続していくことに努めています。会員の皆さんとは和気あいあいですよ。女性部の全国大会に出席したことは、新しい発見ができましたし、自分をレベルアップする良い経験になりました」と話します。

「即断即決の性格ですね。うちでは家事はほとんど私がやりますが、男性女性に限らず自分にできることを臨機応変にやればいい」とおおらかに笑います。パワフルでエネルギーが溢れる姿は生き生きとしていました。

## 「日本女性会議2007ひろしま」に参加して

### 男女共同参画審議会委員 平野由梨

10月19日(金)と20日(土)の2日間、広島で開催された日本女性会議に出席してきました。私はDV分科会に参加しました。

普段、弁護士会や相談所等でDV相談を受けている私としては、「安易に、『それ、DVですよ!』と定義付けをしてしまわないこと。」という相談の際の注意点の説明に興味深く耳を傾けていました。DVであるという定義付けにより、相談者に悪影響を与え、問題解決につながらない危険性があるということを知ることができました。

今後は、もっとNPO法人の方や、女性センターなどの方々と連携して、DV問題に取り組みたいと思います。

### 男女共同参画審議会委員 山田貴志子

多岐に渡るテーマの中で、「くらしと地域」という分科会に参加しました。「生きる=食べる=人間の尊厳」であるとの黒木義昭さん(JA広島専務理事)の言葉に飽食を謳歌する日本人の食生活を改めて省みることとなりました。生産者の立場から参加された宮本啓子さん(JA広島北部理事)の「根本は家庭から。日々の暮らしを大切にすることが命を繋ぐことになる」との地に足をつけた生き方、考え方に感銘を覚えました。

シンポジウム「平和を創り出す若者たち」では被爆地広島で育った若い女性3人の活動報告と質疑応答があり、彼女たちの平和への真摯な取り組みに拍手を送りました。大きな可能性を感じ、有意義な時間を過ごすことができました。



## 脳トしよいも... by 寝猫



## 「NWEC」に参加して

### 男女共同参画審議会委員 志賀勝則

埼玉県嵐山町の国立女性教育会館で開催された「男女共同参画のための研究と実践の交流フォーラム」に参加しました。

内閣府の坂東久美子さんの基調講演「国は女性のキャリア形成とチャレンジ支援を推進」している旨の報告がありました。講師の天野玲子さんは、子どもの頃に映画「黒部の太陽」の石原裕次郎にあこがれ大学で土木を学び、現在は鹿島建設の技術部長。日本各地で橋やダムを造っています。「道りは遠いが、不可能ではないのでチャレンジが必要です」と話されました。

また、テーマのひとつ「政策決定に女性の参画が必要」ですが、現状なされていない矛盾を前鳥取県知事の片山善博さんが指摘しました。

100あまりのワークショップのうち、5つのテーマブースで勉強した3日間でした。